

大新小学校の歴史

《戦前の学校沿革》

- 江戸時代 和歌山城下の商業の中心地として栄えてきた新町に、商人の子弟たちが読み・書き・計算を習う寺子屋（根来塾・秋月塾・今井塾など）が、数か所できていた。
- 明治5年8月 学制発布。
- 明治6年4月 新街小学が、新中通4丁目、真光寺坊舎を借りて開校する。（150名）
- 明治8年9月 橋東小学が、橋向丁、大立寺坊舎を借りて開校する。（118名）
仙橋小学が、鈴丸橋をへだてた北新5丁目15番地に開校する。（97名）
- 明治8年12月 新工小学が、新大工町6番地（現在、大新小学校が所在する新大工町23地に接する）に開校する。（132名）
- 明治9年2月 瓦町小学が、東瓦町に開校する。
- 明治13年2月 橋東小学が、新街小学と瓦町小学を合併する。
- 明治13年6月 葛城小学が、北新戎ノ丁1、2番地に開校する。仙橋小学が北新元金屋1番地にあった同分校を合併する。
- 明治15年2月 益習小学が、坊主町17番地に開校する。（約100名）
- 明治15年11月 新工小学が、善莪小学と改称される。
- 明治17年 善莪小学は、新北小学と改名される。
- 明治17年11月 葛城小学が、新北小学の分教場となる。
- 明治18年12月 大新小学が、茶屋町14番地に新築開校する。橋東小学が益習小学を合併する。「大新」の名は、時の県知事・松本鼎氏の命名による。
- 明治20年4月 大新小学が、大新尋常小学校と改称され、新北小学が新北尋常小学校と改称される。両校共に明治40年の一か年のみ高等科がおかれる。
- 明治32年9月 新北尋常小学校が、畑屋敷西ノ丁に新築移転する。
- 昭和16年4月 大新尋常小学校が大新国民学校と、新北尋常小学校が新北国民学校に改称される。
- 昭和20年7月9日 大空襲により両校共に焼失する。

学校歴史図

